希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100―8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

東日本大震災

サポート情報

25日現在

イベント

〈福島県〉

除染に関するフォーラム 福島県が29日13～17時、郡山女子大建学記念講堂（福島県郡山市開成3）で「安全・安心フォーラム～除染の推進に向けて～」を開催する。第1部は日本原子力学会の研究者が講演、第2部は放射性物質の健康への影響、除染の効果の分科会をつくり、参加者からの質問を受け付ける。参加費は無料。事前に申し込みのある参加者の入場が優先となる。県除染対策課のサイト（http://www.thirdstages.com/anzenansin/index.html）からダウンロードできる申込用紙をファクス（☎024・991・4741）で送るか、氏名、連絡先、どちらの分科会に参加するのかなどを記したメール（josen@forest.ocn.ne.jp）を送る。2月12日にロイヤルホテル丸屋（南相馬市原町区旭町2）、19日にいわき明星大（いわき市中央台飯野5）での開催も予定。問い合わせは同課（☎024・521・8317）まで。

〈東京都〉

被災地のボランティア団体が講演会 岩手県大槌町の吉里吉里地区でボランティア活動を続けるNPO法人・吉里吉里国の芳賀正彦代表が29日13時45分～16時半、明治学院大白金キャンパス（東京都港区白金台1）の本館1401教室で講演する。明治学院大が震災からの復興を目的につくった「Do for Smile@東日本プロジェクト」の一環。吉里吉里国は壊滅した家屋の木材を薪にして販売する「薪プロジェクト」に取り組んでおり、芳賀代表は「震災から復興への歩み」と題して講演する。また、学生の復興へのかかわり方についての議論も行う。参加費は無料だが、事前の申し込みが必要。問い合わせ、申し込みは明治学院大ボランティアセンター（☎045・863・2056）まで。

東日本大震災女性支援ネットワーク中間報告会 29日13時半～17時、文京学院大本郷キャンパス（東京都文京区向丘1、東京メトロ南北線「東大前」）のB館4階、B406教室。被災地で実施した「女性と子供への暴力調査」の結果や、支援の事例を紹介し、災害・復興時の女性支援の課題について考える。復興計画に入れるべき政策についても討論する。参加無料。事前申し込み不要。問い合わせは同ネットワーク（☎03・3830・5285）まで。

ミニニュース

■子どものインフルエンザ予防接種の費用助成締め切り迫る 岩手、宮城、福島県の沿岸部で被災した子どもを対象に、日本ユニセフ協会は自治体を通じてインフルエンザの予防接種を受ける費用の一部を助成している。25日時点で助成を受けたのは、対象となる生後6カ月～中学生の子ども全16万人のうち約10万人。多くの自治体は1月末に助成期間を終えるので、同協会は「希望する人は早めに接種を受けて」と呼びかけている。

予防接種は1回3000円前後で、自治体に申し込めばあらかじめ助成額の2000円を引いた額が受診者に請求される仕組み。詳細は各自治体へ。

ハインツが「番屋」贈る

新しく設置された番屋の前で記念撮影する宮戸島の漁師ら＝ハインツ日本提供

食品メーカー、ハインツ日本（東京都台東区）が、宮城県東松島市の宮戸島に漁師の作業所や休憩所になる「番屋」を贈った。

宮戸島は震災前までノリ養殖が盛んだったが、津波で漁師の自宅や養殖設備が壊滅状態となった。しかし全国からの支援を受け、震災約半年後から徐々に養殖を再開させている。

同社は昨年6月から3年間、看板商品の「逆さケチャップ」の売り上げの1％を被災地支援に充てる方針で、これまでにも同市内に仮設集会所を寄贈している。

仮設住宅は底冷えします

被災者が求める物資や人的支援情報をお知らせします。必ず事前連絡をお願いします。

■遠野まごころネット
（岩手県遠野市）☎0198・62・1001 tonomagokoro@gmail.com
http://tonomagokoro.net/

■ふくふくプロジェクト
（福島市）☎024・521・9311
fpic@fukufuku-project.net
http://fukufuku-project.net/

ニーズ情報

ボランティア、事務局スタッフを募集します 特に平日のボランティアが不足しています。団体がありがたいですが、個人参加も歓迎です。1日だけでもかまいません。個人参加は2日前、団体は1週間前の18時までにホームページから申し込んでください。また、事務や運営にあたる有給の事務局スタッフも募集中です。ハローワークで紹介状をもらい、履歴書と一緒に郵送してください。宛先は〒028―0523 岩手県遠野市中央通り6の10 遠野郵便局留め NPO法人・遠野まごころネット採用担当。

こたつ用、寝具用の布団を募集します 仮設住宅は床からの冷えが厳しいだけでなく、入居時に支援された布団も薄いため、入居者が寒さに苦しんでいます。早急にこたつ用布団と寝具用敷布団の支援を行う必要があります。今月末までに使用に支障のない清潔なものをご提供いただければ幸いです。問い合わせはNPO法人・花見山を守る会（☎024・539・8908）へ。

第4次配布先決定

東日本大震災で被災した子どものために本を贈る「いっしょだよ」キャンペーン（財団法人大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団主催）は25日、第4次配布分の計8865冊を宮城、岩手、福島の3県186カ所に発送した。

寄付金は昨年末、配布先は同11月で募集を終えた。キャンペーンは次回の第5次配布で完了する予定。

【反橋希美】

3県のうち宮城県内の配布先は次の通り。（岩手、福島県分は27日に掲載予定）

中江保育園、青葉保育園、ぷらむ保育園、仙台ラピア保育園、フェニーハート保育園、春日町マザーズチャイルドセンター、杜の都保育園、東北大学星の子保育園、おひさま原っぱ保育園、みやぎっこ保育園、しかまベビーホーム、東北労災病院つくしんぼ保育園、ミッキー保育園北仙台園、仙台袋原あおぞら保育園、ゆりかご保育園、YMCA西中田保育園、保育所ちびっこランド仙台中田園、南光紫陽幼稚園あじさい保育園、マミー保育室、サンキッズ保育園、いずみ保育園、八乙女らぽむ保育園、小羊園、高森サーラ保育園、ぷりえーる保育園、おおぞら保育園、あすと長町こぶたの城保育園、長町自由の星保育園、星の子保育園、ますみ保育園、太白すぎのこ保育園、さかえ保育園、中野栄あしぐろ保育所、中野ラピア保育園、なかの幼稚園、保育所ちびっこランドたかさご園、同新田園、レインボーナーサリー新田東館、同田子・ふくむろ館、同萩野町館、ハニー保育園、ブルーベリーズ保育園、ひかり保育園、ちゃいるどらん保育園、同六丁の目保育園、きっずるーむトトロ、ナザレト愛児園、保育園ソレイユ、小田原保育園、ますえの森どうわほいくえん、原町すいせん保育所、マザーズ・サンプラザ保育園、あっぷる保育園、おもちゃばこ保育園、マザーズ・サンピア保育園、やまとまちあから保育園、カール英会話こども園、仙台保育園、河原町すいせん保育所、ちびっこひろば保育園、上飯田くるみ保育園、栗生ひよこ園、コスモス錦保育所、はぐくみ保育園、おひさま保育園（仙台市）▽増田小学校、名取が丘保育所（名取市）▽金山保育所（丸森町）▽落合小学校、鶴巣小学校、宮床小学校（大和町）▽向洋中学校（七ケ浜町）▽天真小学校、城南小学校（多賀城市）▽つやま幼稚園、横山小学校（米山東小学校、東郷幼稚園、佐沼小学校、石越幼稚園（登米市）▽志津川小学校（南三陸町）▽開北小学校、万石浦小学校（石巻市）▽小牛田小学校（美里町）▽涌谷南幼稚園（涌谷町）▽築館東保育所、若柳川北保育所、志波姫保育所、若柳川南保育所（栗原市）▽馬籠小学校、白山小学校、新城小学校（気仙沼市）▽越河保育園、深谷保育園、白川保育園（白石市）▽第二光の子保育園、大河原児童センター（大河原町）▽西住小学校（柴田町）▽逢隈児童館（亘理町）

声 被災者から

福島

9カ月ぶり 家族そろう

年末に避難先の和歌山市から妻と子ども2人が戻った南相馬市の自動車修理業、小玉洋一さん(41)「9カ月ぶりに自宅に家族がそろいました。食卓もにぎやかで、生活に活気が出てきました。昨年3月に家族全員で和歌山市に避難しました。5月に両親と南相馬の自宅に戻ってからはテレビをつけていないと家の中が静かでした。小学6年の長男の『母校で卒業したい』という気持ちを尊重して、地元小学校の再開に合わせて呼び戻しました。子どもたちの先のことを考えると、放射能が怖い気持ちは当然あります。でも線量計を持ち歩いて日常的に測るようになり『和歌山の2、3倍程度』と思うようになりました。聞き直るしかないというのが実情です。変わったのは自宅や周辺の掃除をする機会が増えたことだけですね。除染になればと思ってやっています。サイクロン型の掃除機も買いました」

【藤顕一郎】

地元の南相馬市に家族がそろい「仕事にも張りがでてきた」と話す小玉洋一さん

■被災地へボランティアに行くには■

各地のボランティアセンター（VC）が、被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に、居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

＜岩手県＞

◆県VC
☎019・637・9711 サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」
☎0198・62・1001 要事前申し込み。個人、団体とも可。月曜定休

◆宮古市VC
☎090・4478・3984 個人、団体とも1週間前までに電話連絡を

◆石巻市VC
☎0225・23・6015 5人以上20人以下のグループのみ受け付け。要事前連絡。日、月曜日定休

◆気仙沼市VC
☎080・5949・7475 個人または8人以下の団体のみ。前日までに登録が必要

◆岩沼市VC
☎080・5949・7541 要事前登録。登録者に活動情報を送っている

◆東松島市VC
☎0225・82・9812 金、土、日のみの活動で要事前登録。毎週月・火曜日定休

◆山元町VC
☎080・5949・7720 前日までに要申し込み。水曜定休

◆七ケ浜町VC
☎090・6853・4490 個人または